

H23年8月下旬の沿岸域の海況と漁況

8月下旬の漁況

- ・タイ類の漁獲量は昨年同期と同程度。
- ・シイラは7月下旬よりも増加。
- ・シロイカは7月下旬よりもやや減少。

各地の漁獲情報 (8/25~8/31まで)

出所:漁協担当者への聞き取り調査による

漁法	魚介類	水揚場所	漁獲量 (1日あたり)	操業数 (1日あたり)	備考
刺網	タイ類	淀江	10~30箱	3~5隻	
		御来屋	20箱前後	1隻	
		泊	5~10箱	1~2隻	
		酒津	10~60箱	3隻	
ハマチ		泊	70箱	3隻	1日間のみ
		酒津	10~80箱	2隻	
キス		淀江	20~40箱	3~4隻	
カマス		淀江	10~30箱	3~5隻	
サザエ		御来屋	20~30箱	10~15隻	
巻き網	シイラ	赤碕	30~120箱	1組合	1日間のみ
カゴ	カワハギ	酒津	80~130箱	3隻	
		泊	1~2箱	2~3隻	
一本釣	サワラ・サゴシ	淀江	20~50箱	10~15隻	主体3,4本入
		御来屋	3~5箱	2~3隻	5~20本入,まばら
		シロイカ	赤碕	100~150箱	5~10隻
素潜り	サザエ	赤碕	20~30kg	5名	
		泊	1~8箱	2~4名	
		アワビ	赤碕	5~10kg	5名

※イワガキの操業が8月中旬に終了。

9月の漁獲の予測

- ・8月下旬と同様の漁獲状況が続く模様。

●8月下旬の沿岸域の海況

表面水温は昨年の同期と同程度。7月下旬から3~4℃上昇。

クロロフィルa量は昨年同期より高い。7月下旬から0.1~0.3µg/L減少。

- ・表面水温は27.0~27.8℃、0~20 m層の平均水温は26.8~27.8℃。
- ・赤碕と長尾鼻の沖側の水深185 m (底層) の水温は3.9と4.1℃。

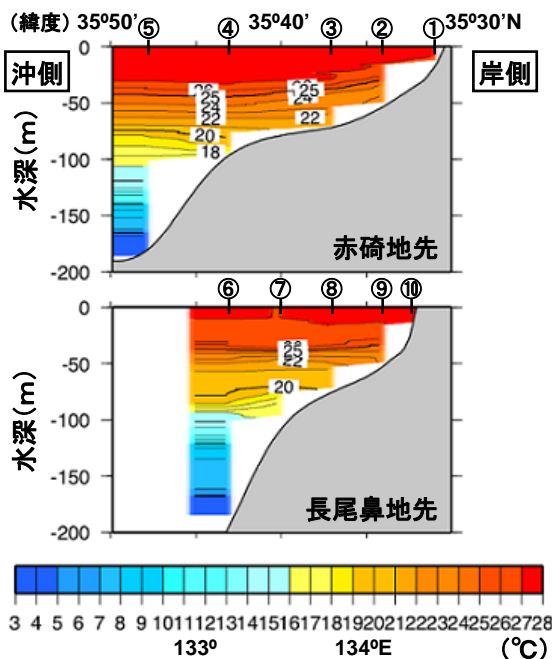


図1) 8月31日の赤碕と長尾鼻の地先における水温の鉛直分布(上図)と観測点(下図)。

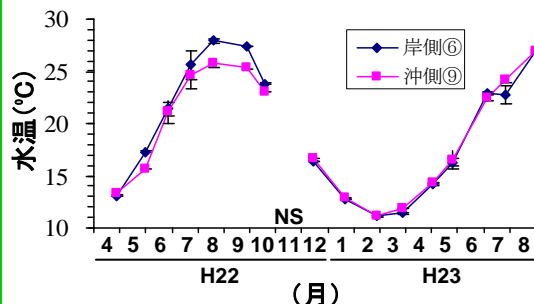


図2) 長尾鼻地先の表層の水温の平均値の季節変化. NS:観測データ欠測。

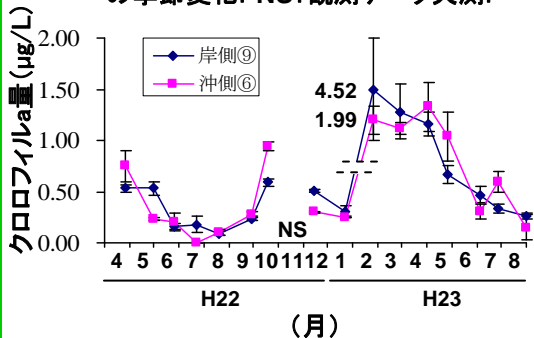


図3) 長尾鼻地先の表層のクロロフィルa量の平均値の変化. NS:観測データ欠測。

- ・水温は昨年の同期と同程度、7月下旬より3~4℃上昇。
- ・クロロフィルa量は昨年の同期よりもやや高く、0.2~0.3µg/L。